

山江村教育大綱

～未来を拓き、輝く人材を育む村づくり～

(基本理念) 情報時代 (Society5.0) を生き抜く山江村生涯学習社会の実現

本村教育は、情報時代 (Society5.0) と言われる劇的な社会の進展に対応しながら、恵まれた自然や歴史、伝統・文化のもとで、生涯にわたって自立する村民の育成を図るとともに、村民自らが地域社会の形成に主体的に参画し、健康で明るく元気に暮らすことができる生涯学習社会の実現を目指します。

そのために、

- ふるさとに愛着と誇りを持ち、情報時代 (Society5.0) をグローバルに活躍できる児童・生徒の育成を図ります。
- 生涯にわたって、多様な学びや体験を共有し、学び続けられる村づくりを進めます。
- 村民誰もが人権についての理解を深め、人権を大切にする村づくりを進めます。
- 誰もが地域でスポーツの楽しみを感じることができる村づくりを進めます。
- 歴史や文化財を次世代へ継承していくとともに、その魅力を村内外へと発信し、村の活性化へと繋がります。

1 学校教育の推進

<基本方針>

「夢を叶える山江村教育プラン—山江村に誇りを持ち、夢ある教育の実現を目指す—」を策定し、学校教育を推進します。特に、情報時代 (Society5.0) に対応した「生きる力」を育むことを目指して、児童生徒の確かな学力、豊かな心、健やかな身体の育成に努めます。また、五者 (学校・家庭・地域・子ども・関係機関) が連携した教育を推進し、義務教育9年間の児童生徒の学びを繋いでいきます。

(1) 「生きる力」を育む教育の推進

① 確かな学力の育成

教科等の特性である「見方・考え方」を生かしながら、基礎的な知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力、人間性等を育成します。また、教科等横断的な視点から学習活動を行うとともに、ICT機器を積極的に活用しながら、学習の基盤となる情報活用能力を育成します。

② 豊かな心の育成

道徳の授業を要に、すべての教育活動の中で道徳的実践力の育成に努めます。道徳用郷土資料「くまもとの心」や熊本地震関連教材「きずな」、児童生徒の様々な体験活動と関連させながら、互いに助け合い励まし合うことを通して、自らを律しつつ、他と協調し、他人を思いやる心や感動する心を育てます。また、いじめの未然防止及び早期対応を踏まえて、学校総体とした児童生徒の居場所のある学校・学級づくりを推進します。

③ 健やかな身体の育成

健康で丈夫な身体の育成を目指して、体力向上、むし歯予防、食育の推進を図ります。体力向上では体力テストの結果を生かした授業づくりを、むし歯予防においては治癒率の向上を、食育においては給食食材の地産地消化を推進します。

④ 地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の三つの機能「学習支援」「安全支援」「環境支援」を生かして教育活動を進めます。また、未来に生きる児童生徒の将来に向けて、五者が連携・協力しながら教育活動を進めます。

⑤ 郷土を愛し、国際的視野を持った人づくり

村内の文化遺産や伝統芸能等について学び、伝承していくことを通して、郷土を愛する児童生徒を育成します。また、国際的視野を持った人づくりを目的として、外国語教育を推進し、児童生徒に異文化理解と国際交流の機会をつくっていきます。

（２）よりよい教育環境の整備・充実

① 児童生徒の学びと生命の安全を確保するために、また、地域住民の生涯にわたる学習、文化、スポーツ等の活動の場とするために、学校施設の整備、充実を計画的に進めます。

② 本村の実態に応じた実践的な避難訓練等の実施及び、家庭、地域、関係機関等との連携・協働による防災教育の充実を進めます。

２ 社会教育の推進

<基本方針>

生涯にわたって多様な学びや体験を提供し、学び続けられる村づくりを進めます。

また、生涯スポーツの浸透を目指し、スポーツ環境の充実に努め、誰もが地域でスポーツの楽しみを感じることができる村づくりを目指します。

（１）多様な学びの推進

① 指導者の育成

自ら課題解決に取り組む自立した地域を目指すための指導者の育成を推進し、社会教育関係指導者、公民館分館長の各種研修会への参加を図ります。

② 社会教育関係団体の育成

成年、婦人、高齢者団体への活動支援や各種団体への加入を促進します。

③ 社会教育施設の整備

すべての村民が多様な知識・情報・技術をえるための充実した学習機会を提供します。公民館・コミュニティーセンター・歴史民俗資料館・やまええほんの森を活用し、生涯学習の拠点として講座の開設や利用促進に取り組みます。

（２）公民館活動の充実

① 青少年の健全育成

団体指導者の育成、地域教育力活性化、体験活動を推進します。

② 家庭教育の振興

家庭教育学級（保育園、小学校、中学校のPTAと連携）、くまもと「親の学び」プログラム、やまえ読書活動推進計画を実施します。

③ 人権の尊重

住民の人権意識を醸成するため、人権教育研修会の実施や啓発活動を積極的に推進します。

(3) 文化の振興

文化・芸術に関するサークル活動の支援促進や、発表機会などを設け、より一層の文化活動の充実を図ります。

(4) 社会体育の推進

① 多世代にわたる生涯スポーツ活動の浸透

各ライフステージでの課題や目的に合わせたスポーツ活動に取り組み、村民が生涯にわたってスポーツを楽しむことができる村づくりを推進します。

② 体育施設・スポーツ環境の充実・整備

山江村体育館等の社会体育施設を誰もが利用しやすいような管理運営に努めます。

③ 総合型スポーツクラブ（わいわいクリスポやまえ）の活性化

村民の様々なニーズに対応できるよう総合型スポーツクラブと連携し、指導者の確保・育成やメニュー・プログラムの充実を図ります。

3 歴史的文化遺産の保全と活用

<基本方針>

歴史や文化財を次世代へ継承していくために地域の文化財の保護、保存及び活用を推進するとともに、魅力を村内外へと発信し、村の活性化へと繋げます。

(1) 文化財の保護・保存

村指定及び未指定文化財の保護・保存を推進するとともに、指定に向けた情報収集に努めます。

(2) 文化財に対する理解の促進

文化財のリスト化や歴史講座などを開催し、本村の歴史や文化財について村内外の人が情報を手に入れやすいように工夫します。

(3) 文化財の活用・開発

山江村の歴史や文化財などが、村のPRや観光メニュー開発へ役立つよう活用に努め、関係機関と連携しながら、村の活性化に繋げていきます。

※グローバル（Glocal）…グローバル（Global：地球規模の、世界規模の）という言葉とローカル（Local：地方の、地域的な）という言葉を掛け合わせた造語。地球規模の視野で物を考えつつ、必要に応じて地域視点で行動する（Think globally, act locally）ことを意味する。

※Society5.0…サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）のことをいう。狩猟社会（Society1.0）、農耕社会（Society2.0）、工業社会（Society3.0）、情報社会（Society4.0）に続く、新たな社会を指すもの。